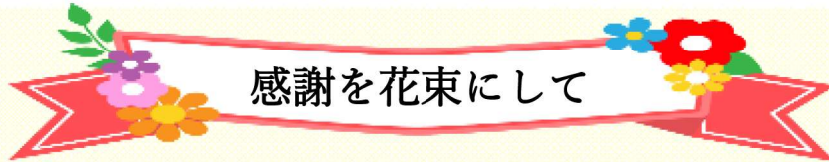




BベEテIルH通E信

2026年6月号（第275号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel089-925-5000
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>



感謝を花束にして

色鮮やかな紫陽花が輝く季節になりました。2016年に小さな産声をあげた保育園はお陰様で10年を迎える事になりました。新しい園舎に、お子さんを迎えて再スタートした口の事を今でも昨日のように思い出します。

今年5月末で79人目のお子さんと出会える事ができ、園舎にエネルギーを吹き込んでくれました。一人ひとり名前を見ると好きな遊びや表情が思い出され楽しい一時となりました。ここを巣立った子ども達も園庭の木々のようにたくましく自分の足でしっかりと未来を歩んでいる事と思います。

初めて一歩歩けた瞬間の言葉にできない嬉しさ、昆虫探しに真剣な表情など積み重ねてきた日常のすべてが私たちの宝物です。子ども達の真っ直ぐな瞳や、何でも一生懸命な姿から「今を楽しむ大切さ」を教えてもらった気がします。

子育ては楽しい事ばかりではありません。毎日を駆け抜けている保護者の皆さんと一緒にお子さんの成長に関わり喜びを分かち合えた事は、かけがえのない財産です。



これからも「お家のような保育園」ホッとできる温かい場所であり続けたいと思います。

どんなに世の中が便利になり、時代がかわっていったとしても、子ども達が安心して過ごし、のびのびと表現し、個性を大切に育む場所としてこれからも大切に守っていきたいと思います。

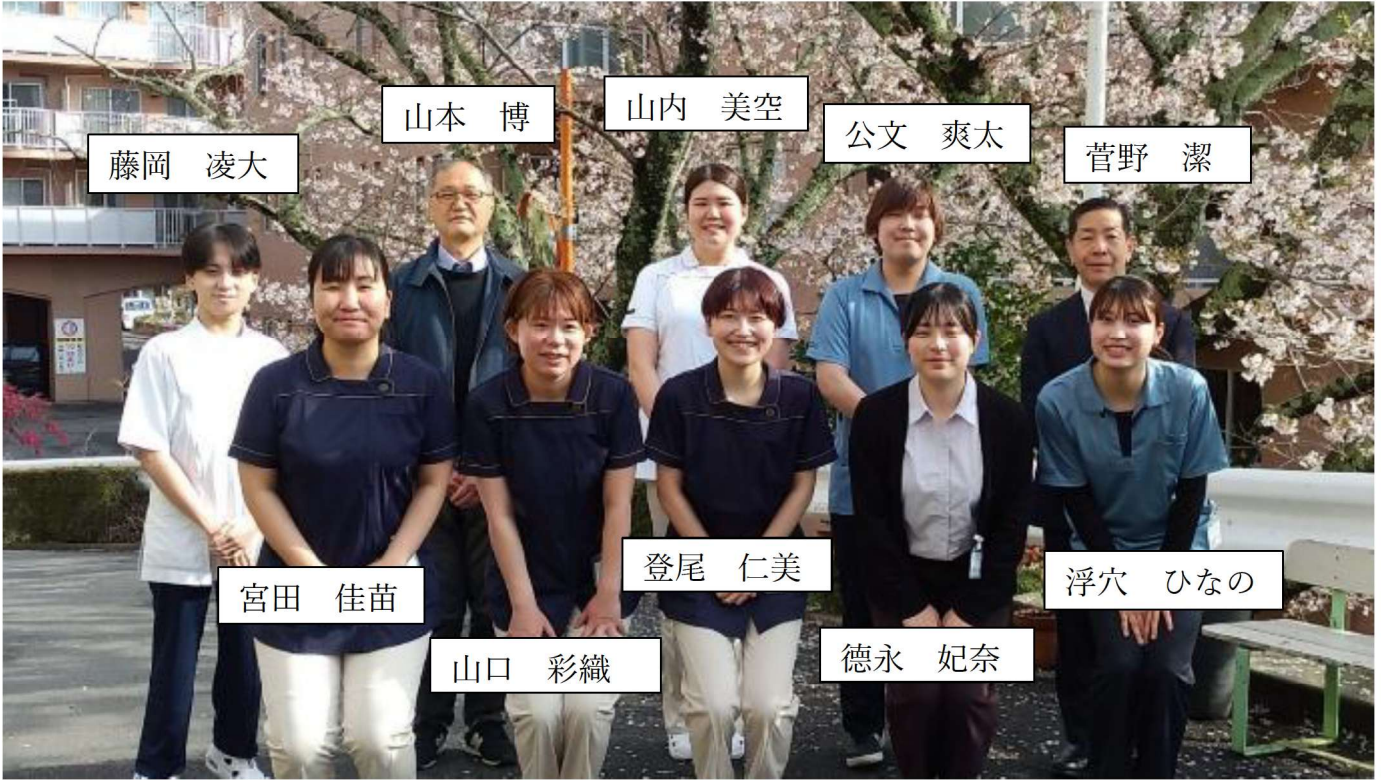
ここはまだ通過点です。新しいワクワクの始まりです。明日からも変わらず、子ども達の「できた!」という喜びや小さな発見を一緒に見守って行きたいと思います。これまで支えて下さった皆様に心から感謝を申し上げます。これからも温かい眼差しをよろしく願います。

これからは雨の季節です。子ども達と静かに雨音に耳をすまし、晴れ間には思いっきり“どろんこ遊び”で身体を動かしたいと思います。泥を触った時どんな表情かなあ～楽しみです。





2026年度 新規採用職員紹介



①氏名 ②配属部署 ③職種 ④抱負(一言)についてお聞きしました

<p>①藤岡 凌大 (ふじおか りょうた) ②リハビリテーション課 ③言語聴覚士 ④患者さまによりそった、リハビリや医療を行いたいと思います。</p>	<p>①山本 博 (やまもと ひろし) ②施設管理室 ③運転手 ④利用者さまに寄り添った仕事を心掛け安全運転をしたいと思います。</p>
<p>①山内 美空 (やまうち みく) ②4階病棟東フロア ③看護師 ④患者さま、ご家族の今まで生きてきた人生やその人らしさを大切にされた看護を提供できるよう努めます。</p>	<p>①公文 爽太 (くもん そうた) ②4階病棟西フロア ③看護助手 ④新人ですが、みなさまのお役に立ち、患者さまに寄り添っていきたいです。</p>
<p>①菅野 潔 (かの きよし) ②施設管理課 ③守衛 ④再々就職者になります。健康に留意し、少しでも早く仕事を覚えたいと思っております。</p>	<p>①宮田 佳苗 (みやた かなえ) ②4階病棟西フロア ③看護師 ④新しい環境に早く慣れて、患者さまがその人らしく過ごされるのを手伝いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>①山口 彩織 (やまぐち さおり) ②2階病棟東フロア ③看護師 ④一日でも早くみなさんとお仕事ができるように環境に慣れ、頑張ってお仕事を覚えたいと思います。患者さまにより添った看護ができるよういろいろな知識や技術も習得したいと思います。</p>	<p>①登尾 仁美 (のぼりお ひとみ) ②3階東病棟 ③看護師 ④仕事を早く覚えて、患者さまに安心を届けられるように頑張ります。</p>
<p>①徳永 妃奈 (とくなが ひめな) ②医療相談室・地域医療連携室 ③社会福祉士 ④いたらぬ点も多いと思いますが、よりよい支援になるよう、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>①浮穴 ひなの (うけな ひなの) ②4階病棟東フロア ③介護福祉士 ④早く仕事を覚えて、患者さまに安心・安全の支援を提供できるように頑張ります。これからよろしくお願いいたします。</p>



将来の肺炎リスクに備えましょう

肺炎は高齢の方にとって命に関わる重要な病気です。日常生活の中にかかる肺炎（市中肺炎）の原因となる細菌の第1位は「肺炎球菌」であり、高齢者や基礎疾患のある方では特に注意が必要です。

日本では、肺炎で亡くなる方の約97～98%が65歳以上を占めており、特に75歳以上では死亡率がさらに高くなります。加齢による免疫力の低下や、飲み込む力（嚥下機能）の低下により、細菌が気道に入りやすくなることが大きな要因といわれています。また、一度肺炎になると、体力低下をきっかけに寝たきりや認知機能の低下につながる場合もあり、肺炎球菌による肺炎の予防が重要とされています。

さらに、基礎疾患のある方では肺炎の発症・重症化リスクが高くなります。糖尿病では感染への抵抗力が低下し、肺炎リスクが高まることが知られています。また、慢性閉塞性肺疾患（COPD）や喘息などの呼吸器疾患、心不全、慢性腎臓病、がん、免疫抑制状態の方では、肺炎による入院や重症化のリスクがさらに上昇するため、複数の基礎疾患をお持ちの場合はより注意が必要となります。

当院では、2026年度より公費対象のプレベナー20と、任意接種のキャップボックスを採用しています。プレベナー20は20種類の肺炎球菌に対応する結合型ワクチンです。一方、キャップボックスはさらに多くの血清型に対応しており、幅広い肺炎球菌感染予防効果が期待されています。また、近年問題となっている一部の重症化しやすい血清型にも対応しているとされています。

これまで広く使用されてきたニューモバックスは、接種後おおよそ数年程度で効果が低下するとされ、高齢者や免疫力が低下している方では、さらに早く効果が弱まる可能性があります。従来は再接種が行われることもありましたが、近年はプレベナー20やキャップボックスなどの結合型ワクチンの使用が広がっています。「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第8版）」では、ニューモバックスの再接種は原則として選択肢としない考え方が示されています。現在、プレベナー20およびキャップボックスは1回接種での使用が基本とされています。

肺炎は、治療だけでなく予防がとても重要な病気です。ご自身やご家族の健康を守るためにも、肺炎球菌ワクチン接種をご検討してみたいはいかがでしょうか？接種時期やワクチンの選択については、医師・薬剤師までお気軽にご相談ください。

参考文献：

日本呼吸器学会 感染症・結核学術部会ワクチンWG/日本感染症学会ワクチン委員会/日本ワクチン学会・合同委員会. 65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第8版 2026年4月1日）

MSD 株式会社. 肺炎予防.jp <https://www.haien-yobou.jp/> (2026年5月11日アクセス)

（ 薬局長 藤方 智也 ）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

6月10日（水）、6月24日（水）

◎ 6月の休診（5月25日現在）

5月29日（金） 中橋 恒 医師（外科）

6月 9日（火） 中橋 恒 医師（内科）

森 洋二 医師（脳神経外科）の診療は当面の間休診とさせていただきます。



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

6月接遇目標

二〇二六年 六月の接遇目標

「梅雨こそ丁寧に。温かい声掛けを」

接遇委員会

接遇委員会

5・6月 医療安全推進目標

確認作業を怠らず、
事故を予防しよう



医療安全委員会

春嶺に
ひびく牧師の
ハーモニカ
（四階 ボランティア）

日和かな
つつじの色に
咲きかえて
（宮崎 史江）

ベテル旬会



- 投函箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投函をお待ちしております。
- 『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- 掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。

発行日 2026年5月25日